

前回（23.12.26 第4回委員会）の委員意見への対応状況

| 委員 | 意見（要旨） | 対応状況 |
|--------------|--|---|
| 田沢委員 若生委員 | 計画の指標は、関連する県の他の計画にも盛り込むべきである。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 食の安全安心推進計画、食育推進計画に掲載されている指標の他の関連個別計画等における掲載状況は別紙のとおり。 ・ 関連個別計画は、各部局の主要な施策に関わる、いわば部局の担当範囲に係る「縦の計画」。 一方で、「食の安全安心推進計画」「食育推進計画」は、「食の安全安心」「食育」を切り口とした部局「横断的な計画」。 ・ また、「いわて県民計画」は、県全体の施策の体系と推進方策を示す総合計画であり、その指標には各施策の代表的なものが示されている。 ・ それぞれの計画に策定の目的があり、内容や指標の設定に濃淡があることから、必ずしもそれぞれの計画の指標が一致するものではないが、御意見の趣旨を踏まえ、各計画の改定等に当たっては、他の計画との内容の整合性や指標の設定について、十分に留意するものとする。 |
| 沼田委員 | 施策の評価において、全体の傾向を一括りで評価した場合、必ずしも個別の取組の実績と一致しない。個別の課題が明らかになるよう、評価の仕方を工夫すべきである。 | 平成23年度の施策の評価においては、全体の総括とともに、各指標に係る実績評価と今後の対応、個別の取組に係る実績・課題と24年度の計画を整理するなど評価の様式を見直した。 |
| 板井委員 | 計画の指標をパーセントで表す場合、母体の対象数など具体的な数字を示すべきである。 | 平成23年度の施策の評価においては、指標に係る参考データとして、調査対象・対象数、調査名等を記載した。 |
| 金子委員 | 「食育」の言葉を知っている人は増えたが、本当に浸透しているかどうかを拾えるような計画指標を考えいくべきである。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の計画策定における指標設定の際に、参考とする。 ・ 当面は、具体的取組の評価の中で、事業実績等について説明していく。 |

別紙

◆食の安全安心推進計画

| 指標 | 関連個別計画 | | いわて県民計画での指標 | 備考 |
|-----|--|---------------------|-------------|----|
| | 名称 | 指標 | | |
| I | ① 県産農産物における食品衛生法違反(残留農薬基準超過)件数 | なし | — | × |
| | ② 県産農産物における自主回収報告件数(農産物の生産者に起因するもの) | なし | — | × |
| | ③ 生乳検査における細菌数3万/ml未満の生乳の割合 | なし | — | × |
| | ④ 営業施設を原因とする食中毒の発生件数 | なし | — | × |
| | ⑤ 患者数50人以上の大規模食中毒の発生件数 | なし | — | × |
| | ⑥ 営業施設のうち重点対象施設に対する岩手版HACCPの導入割合 | なし | — | ○ |
| | ⑦ HACCPの考え方に基づき衛生管理を実施している水産加工場数 | なし | — | ○ |
| | ⑧ 食品表示の適正表示店舗率 | 岩手県消費者施策推進計画 | ○ | × |
| | ⑨ 補給型施肥に取り組む産地数 | 岩手県環境と共生する産地づくり基本計画 | — | ○ |
| II | ① JAS法違反による改善命令等件数 | 岩手県消費者施策推進計画 | × | × |
| | ② 健康増進法に基づく広告違反事例に対する是正、改善率 | 岩手県保健福祉計画 | — | × |
| | ③ 購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない人の割合 | 岩手県消費者施策推進計画 | × | ○ |
| | ④ 消費者を対象とした食の安全安心に関する出前講座等の実施回数 | 岩手県消費者施策推進計画 | ○ | ○ |
| | ⑤ 牛肉トレーサビリティ法の違反件数 | なし | — | × |
| | ⑥ 米トレーサビリティ法の違反件数 | なし | — | × |
| | ⑦ 食の安全性確保の取組が行われていると感じる人の割合 | 岩手県消費者施策推進計画 | × | ○ |
| | ⑧ 学校給食における県産食材の利用割合 | なし | — | × |
| | ⑨ 体験型教育旅行の実施小学校の割合 | 岩手県体験型教育旅行推進計画 | ○ | × |
| III | ① 県産農産物における食品衛生法違反(残留農薬基準超過)件数【再掲】 | なし | — | × |
| | ② 飼料の安全性試験適合率 | なし | — | × |
| | ③ 動物用医薬品の不適正使用件数 | なし | — | × |
| | ④ サーベイランス対象の家畜伝染性疾病の発生件数 | なし | — | × |
| | ⑤ 採卵農家におけるサルモネラ属菌検出件数 | なし | — | × |
| | ⑥ 本県産生ウニを原因とする県内の食中毒発生件数 | | | |
| | ⑦ 水産物に関する「岩手県産地市場HACCP対応指針」適合水産物産地市場の割合 | なし | — | ○ |
| | ⑧ 本県産ホタテガイ等の貝毒を原因とする県内の食中毒発生件数 | なし | — | × |
| | ⑨ 本県産食用カキのノロウイルスを原因とする県内の食中毒発生件数 | なし | — | × |
| | ⑩ 営業施設を原因とする食中毒の発生件数【再掲】 | なし | — | × |
| | ⑪ JAS法違反による改善命令等件数【再掲】 | 岩手県消費者施策推進計画 | × | × |
| | ⑫ 残留農薬の基準超過や遺伝子組み換え食品による食品衛生法違反件数 | なし | — | × |
| | ⑬ いわゆる「健康食品」による健康被害に対する関係法令に基づく処分又は告発件数 | 岩手県保健福祉計画 | — | × |
| | ⑭ 衛生管理検査適合率(枝肉又は食鳥中抜きとたいに係る生菌数が基準値以内であったものの割合) | なし | — | × |
| | ⑮ 県内輸入事業者による輸入食品に関する残留農薬基準超過等の食品衛生法違反件数 | なし | — | × |

| 指標 | 関連個別計画 | | いわて県民計画での指標 | 備考 |
|----|---|--------------|-------------|----|
| | 名称 | 指標 | | |
| IV | ① 食の安全性確保の取組が行われていると感じる人の割合【再掲】 | 岩手県消費者施策推進計画 | × | ○ |
| | ② 一斉分析法に新規で追加された物質が収去検査に採用される割合 | なし | — | × |
| | ③ 下水処理施設、カキ生産現場等のノロウイルス循環経路におけるリスク低減方法の知見取得 | なし | — | × |
| | ④ 環境負荷の少ない農産物生産に関する研究成果情報の農家への提供件数 | なし | — | × |
| | ⑤ 食品表示の適正表示店舗率【再掲】 | 岩手県消費者施策推進計画 | ○ | × |

◆食育推進計画

| 指標 | 関連個別計画 | | いわて県民計画での指標 | 備考 |
|-----|---|----------------|-------------|----|
| | 名称 | 指標 | | |
| I | ① 朝食欠食の割合 | 健康いわて21プラン | ○ | × |
| | ② 肥満傾向のある割合 | 健康いわて21プラン | ○ | ○ |
| | ③ むし歯のない者の割合(3歳児) | 健康いわて21プラン | ○ | × |
| | ④ 甘い食べ物や、飲み物をおやつとして1日2回以下にしている者の割合(3歳児) | 健康いわて21プラン | ○ | × |
| | ⑤ 毎日仕上げ磨きをする者の割合(3歳児) | 健康いわて22プラン | × | × |
| | ⑥ フッ素塗布を受けたことがある割合(3歳児) | 健康いわて21プラン | ○ | × |
| | ⑦ 学校における生活習慣等に関する個別指導体制整備と実施 | なし | — | × |
| | ⑧ 肥満防止取組実施状況 | 健康いわて21プラン | × | × |
| II | ① 食の安全性確保の取組が行われていると感じる人の割合 | 岩手県消費者施策推進計画 | × | ○ |
| | ② 消費者を対象とした食の安全安心に関する出前講座等の実施回数 | 岩手県消費者施策推進計画 | ○ | ○ |
| III | ① 学校給食における県産食材の利用割合 | なし | — | × |
| | ② 体験型教育旅行実施小学校の割合 | 岩手県体験型教育旅行推進計画 | ○ | × |
| IV | ① 市町村食育推進計画を策定している市町村の割合 | なし | — | ○ |
| | ② 食育月間、食育の日に取組を行っている市町村の割合 | なし | — | × |